

# 令和元年度 調布市立飛田給小学校 学校評価報告書

領域	評価結果の概要	学校関係者評価結果の概要	次年度への改善策
学力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5, 6年生の学力調査では、都の平均を上回った。特に、5年生の算数は9ポイント、理科は5ポイント上回っている。しかし、言語で記述することに課題が見られ、今後、自分の考えをまとめることについての活動に力を入れる必要がある。</li> <li>・外国語については、授業交換をしながら、学年で1人の担任が担当するようにした。そのことで、ALTとの連携も安定し、指導内容も安定した。しかし、6年生では、英語に対する苦手意識も芽生え始め、今後、興味関心を高める指導や評価の在り方を検討していく必要がある。</li> <li>・低学年算数室、中・高学年算数室、個別支援室の環境整備が整い、担当教員による工夫された教材も準備され、担任との連携も円滑になった。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: right;"><b>5段階評価</b></p> <p><b>平均</b></p> <p>①5,6年生学力調査、各教科で都の平均点以上。</p> <p>4.7</p> <p>②授業観察において「主体的・対話的」な活動が、1時間に1回は行われていることのチェック。</p> <p>4.3</p> <p>③3,4年生は年間35時間以上の外国語活動、</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生から算数の少人数を実施しているのはよい。理科も講師が担当しているのは、教科の専門性の観点からしてもよいので、次年度以降も可能な限り、理科は講師対応とし、学級担任と連携を深める。</li> <li>・オリパラ会場最寄りという地の利を生かした外国語授業について検討する。</li> <li>・水泳については、屋外条件が厳しくなっているが、水泳指導の時間を確保するように努力する。</li> <li>・外国語については、英語嫌いが小学校から始まることのないような指導方法を検討する。</li> <li>・3観点の学習評価を意識した授業を行う。</li> </ul>
健全育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳授業地区公開講座では、車いすソフトボールの選手の講話を親子で聞く会を持ち、270名の参加があった。アンケートから満足度はとても高かった。今後、校内研究のテーマと併せ、多様性を尊重する意識を育成していく。</li> <li>・教科道徳としての評価を、3学期の通知表の所見欄に記入する。そのために、道徳部会で提示された評価例を確認した。教科としての道徳のねらいを共有できた。</li> <li>・人権を意識した全校朝会の校長講話を月1回は実施した。校長講話を各学級で取り上げ、復習することで、学力調査のアンケートから人の役に立ちたいと思う児童が増えている。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: right;"><b>5段階評価</b></p> <p><b>平均</b></p> <p>①年3回のいじめ防止アンケート実施とその後、解消されたかどうかの確認。</p> <p>4.5</p> <p>②全校朝会で、人権にかかわる内容の講話を学期に2回実施。</p> <p>4.2</p> <p>③人権教育プログラムの最低学期1回の活用。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめのアンケートだけではわからない面もあるので、生活指導部を中心として教員の気づきを敏感にし、早期対応に心がける。</li> <li>・ネグレクトについても、学校で子供の様子を把握し、子ども家庭支援センターや児童相談所等と情報共有する。</li> <li>・通級する児童が増えているが、状態が改善して指導終了する児童もあり、成果は表れている。通級指導担当者とは在籍学級担任との連携をさらにすすめる。</li> <li>・朝会の講話を学級指導につなげていくように教員の意識をもたせる。</li> </ul>
健康・体づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力調査の結果は、低・中学年は都の平均より低い状態であるが、高学年は高くなっている。学年が上がるにつれて高くなっていく状況は、学校での活動の成果が上がっていると言える。オリンピック・パラリンピックを意識した活動を今後も継続する。</li> <li>・いじめの認知の仕方については、生活指導主任を中心に、日々担任がチェックし報告し、統計をとっている。そのため、いじめにつながりそうな案件には、迅速な対応ができています。いじめ防止対策委員会は、今年度3回実施し、いずれも早期の解決に至っている。</li> <li>・スクールカウンセラーとの4年生以上の面接により、相談する児童が増えた。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: right;"><b>5段階評価平</b></p> <p><b>均</b></p> <p>①体力調査で、各種目、都の平均点以上。</p> <p>3.8</p> <p>②毎月、対象児童の食物アレルギー面談の実施。</p> <p>4.5</p> <p>③1学期中に、スクールカウンセラーによる</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年が上がるにつれ体力も向上してきているので、学校での活動が生かされていることを教員が意識し、さらに日頃の活動が見直しされるようにする。また、低評価項目に絞って、重点指導も行うようにする。</li> <li>・食物アレルギーは、今後増えていくと思われるので、対応を慎重に行う。</li> <li>・カウンセラーに話しやすい環境となってきたので、今後も4年生以上の全員面談は継続していく。</li> </ul>
保護者・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットの稼働率はよく、授業におけるタブレットの活用については、苦手な教員も、他の教員に聞きながら、活用するようになった。今後、タブレットを用いた授業の在り方や板書のしかたについても検討する必要がある。</li> <li>・4月からの評価について評価検討委員会を2月から発足した。</li> <li>・教職員に対して、服務研修を行うとともに、随時、都教委からの処分公表を周知し、服務規律に対する意識開発に努めている。</li> <li>・体罰アンケートには、教員が感じていなかったことを指摘する児童もいたもので、管理職で聞き取り、教員に指導した。</li> <li>・19時以降も残る教員と休日に学校に来る場合は、届けを出させるようにした。その結果、勤務についての意識が高まり、20時以降に残る教員は減少した。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: right;"><b>5段階評価</b></p> <p><b>平均</b></p> <p>①各学年でゲストティーチャーとして、地域や地域の人材を学期に2回以上活用。</p> <p>4.7</p> <p>②スクールサポートスタッフの活用。8時以降、教員の残留0。</p> <p>4.0</p> <p>③地区協と連携した防災教育の日実施。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域とのつながりは、コミュニケーションも増え、防犯にもつながる。今後、地域学校共同本部の立ち上げのため、準備していく。</li> <li>・スクールサポートスタッフによる業務の効率化は大きかった。次年度も教員の働き方改革に取り組むためにも、役割分担を明確にしていく。</li> <li>・合唱部やタグラグビー部等の教育課程外の活動も、子供の仲間意識や意欲を高めることは重要であり、地域の力も借りながら継続していく。</li> <li>・保護者による読み聞かせは、子供たちの興味関心も高く、伝統的な活動として継続していく。</li> </ul>
特色ある教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラーと学級担任の連携で登校渋りの対応がすすんだ。昨年度に比べ、低学年の登校渋りが増えているので、対応を検討する。</li> <li>・週1回だった特別支援部による昼休みの読み書き教室を週2回に増やし、学級担任もかかわるようにした。</li> <li>・特別支援教室担当教員のビデオによる授業研究を全教員分、学期に1回実施した。互いに見合うことで新採教員も経験者にとっても良い刺激となった。</li> <li>・3学年以上の各学年の学級単位で、車いすラグビー協会等の協力を得て、体験を実施した。パラリンピック競技応援校として、校内研究のテーマと絡めながら取り組み、児童の障害者理解に関する力は高まっている。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: right;"><b>5段階評価平</b></p> <p><b>均</b></p> <p>①3年生以上1回は車いすラグビーの体験実施。</p> <p>4.8</p> <p>②市のタグラグビー大会参加。</p> <p>4.7</p> <p>③学習発表会の満足度8割以上。</p> <p>4.7</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習発表会の形式を展示と舞台発表を同時に実施するようにし、定着してきた。次年度もこの形で、舞台発表にはメッセージ性を持たせる内容にして、総合的な学習の時間等の発表も兼ねるようにしたい。</li> <li>・オリンピック・パラリンピックが終わっても、本校の特色として、障害者理解教育を継続していく。</li> <li>・近隣の施設と自然に触れ合えるような交流による取組を増やしていく。</li> <li>・タブレットを活用した学習に取り組む。</li> </ul>